

第1回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和4年5月26日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、高齢者が自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。

協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

< 委員紹介 > 敬称略

	委員氏名	所属
1	森谷 哲郎	もりやクリニック 院長
2	布施 秀樹	白井聖仁会病院 院長
3	近藤 修一	すまいる歯科 院長
4	土橋 太輔	ポラン薬局 薬局長
5	福岡 幸子	白井市民生委員・児童委員連絡協議会 会長
6	平野佐代子	さつきの里訪問看護ステーション 看護師
7	野田 義人	北総白井病院訪問リハビリ 理学療法士
8	久米 寛子	ケアサービス優楽里 サービス提供責任者
9	鶴澤 君衣	北総白井訪問看護ステーション居宅介護支援部 主任ケアマネ
10	永井 圭一	印西警察署 生活安全課長
11	岩崎 修一	白井消防署 主幹 救急係長

●● 第1回協議会の主な内容 ●●

「在宅医療・介護連携推進事業」と「認知症総合支援事業」の昨年度実績、今年度事業計画について報告しました。

また、「認知症初期集中支援チーム」の昨年度実績報告を行いました。認知症に関する相談は年々増加しています。支援チームの対応数も昨年度は14名と増え、早期に介入することで負担の軽減に繋がっていると思われます。

また、意見交換として「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の取り組みについて」お聞きしました。アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、「もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組み」のことをいいます。委員の方々のさまざまな意見を聞くことができました。

課題別ワーキング

今年度は下記のテーマで開催します。活動報告は協議会で随時行う予定です。課題別ワーキングではそれぞれの課題を具体的に出し合いながら、白井市ににあった取り組みを考えていく予定です。

在宅医療・救急医療連携

多職種連携情報共有
(ICT普及)

災害対策

トピックス

白井市救急医療情報シート記入内容を改定しました

令和3年度の在宅医療・救急医療連携課題別ワーキングにおいて、救急医療情報シートの内容の見直しを行いました。記入内容の検討を行い、新たに「延命治療について医師に伝えたいご本人の気持ち」という欄を追加しました。シートは、常に最新の情報に更新することが大切です。各地域包括支援センター及び高齢者福祉課、障害福祉課で新しいシートを配布しておりますのでご利用ください。